

定例会(2025年9月)次第

令和7年9月4日(木) 午後7時
くろべ市民交流センターあおーよ

1)会長挨拶

2)経過報告・報告事項

8月9日(土) 猿倉～鎧温泉

別紙参照

8月9日(土) 僧ヶ岳登山道整備

別紙参照

8月24日(日) 烏帽子山登山道整備

別紙参照

8月29日(金) 暑気払い

参加者(14名):川上、姥、折谷、藤谷、芦崎、石川、関原、大坪達、
佐々木邦、川村、荻野、佐藤、佐々木基、松本

3)審議事項

①9月13日(土)～9月15日(月) 燕岳 大天井 常念岳 担当 佐々木基、堀幸人
(燕岳 大天井 常念岳コース) 13名

松本、森田、佐々木基、佐々木邦、三日市雅、三日市信、藤谷、折谷
中野、堀幸人、高澤、野口、石田

(燕岳 往復コース) 2名

菅原、晴波

計画書は別紙参照

②10月5日(日) 応急処置 救命救急 講習会 担当 安全登山

別紙参照

③10月12日(日) 爺ヶ岳 担当 三日市雅、高澤

日程を9/21(日)に変更。別紙参照。

募集〆切 9/17

④10月19日(日)越中駒ヶ岳について 担当 野口、宮寺

僧ヶ岳林道が、第二登山口以降一般車両通行止の為、計画変更
変更案 宇奈月尾根第二登山口～僧ヶ岳

別紙参照

※9月20日(土)～9月21日(日) 鹿島槍ヶ岳(種池 テント泊) 担当 三日市雅、三日市信
熊出没情報により中止

※鳥帽子山に登る日 9月27日(土) 担当 三日市雅、中野、芦崎

⑤上記以外の今後の山行・イベント

・10/26(日) 飯綱山 担当 石川、八木

4) その他

①10月25日(土)・26日(日) 第48回三日市公民館まつり

②県岳連関連 別紙参照

・11月26日 安全登山サテライトセミナー

・9月21日/10月19日 薬師岳折立登山道モニターツアー

(次回定例会 令和7年10月2日(木) 午後7時 くろべ市民交流センターあお一よ)

黒部山岳会 2025年度 9月定例山行（案）

山名	燕岳、大天井岳、常念岳～～表銀座縦走	
標高	燕岳 2763m 大天井岳 2922m 常念岳 2921m	
距離・累積標高	距離： 23.3 km 累積標高差： (上り) 2555 m (下り) 2754 m	
所在地	長野県	
山行日	9月13(土)～9/15(日)	
予備日	なし。ただし天候次第では日程短縮は検討する。	
集合場所/集合時間	入善スマートIC 山側 AM 3:30	
服装・装備	通常の宿泊装備、防寒着（薄手ダウン等）、銀マット（エマージェンシーシート）、ヘッドランプ、昼食・行動食（三日分）、水筒、救急セット（会の場合は携行しない） モバイルバッテリー 共同装備：スリング・カラビナ（佐々木基、堀（幸）、三日市（雅））、ツエルト	
担当者	リーダー：佐々木基、サブリーダー：堀幸人 会計：佐々木邦、藤谷、森田（9/13集合場所で集金およびお金の分配）	
参加費	40000円（山小屋代 30,000円、交通費1000円） 20000円（山小屋代 15,000円、交通費5000円 帰りの中房温泉からのバス除く）	
参加者	縦走（13名）：佐々木（基）、佐々木（邦）、松本、森田、野口、三日市（信）、三日市（雅）、高澤、藤谷、中野、堀（幸）、折谷、石田 燕岳ピストン（2名）：晴波、菅原	
行程	登山口	中房温泉
※標準コースタイム の9割で計画	ルート名	燕岳、大天井岳、常念岳～～表銀座縦走
	9月13日	コースタイム 6時間40分 距離 5.5km 累積標高差 のぼり 1410m くだり 164m 穂高駐車場 6:30 — [マイクロバス] — 中房温泉 7:30 出発8:00 — 合戦小屋 11:30 昼食 12:00 — 燕山荘 13:30 — 燕岳 14:00 — 燕山荘 15:30
※天候によっては常念岳登山は2日目にするか中止もあり得る	9月14日	コースタイム 8時間00分 距離 9.9km 累積標高差 のぼり 692m くだり 944m 燕山荘 5:00 — 大下りノ頭 6:01 休憩6:10 — 喜作レリーフ 7:44 休憩8:15 — 大天荘 9:00 — 大天井岳 9:20 — 大天荘 10:00 — 常念小屋 13:00（宿泊）
	9月15日	コースタイム 7時間30分 距離 7.8km 累積標高差 のぼり 452m くだり 1636m 常念小屋 4:00 — 常念岳 5:45 — 常念乗越 7:20 — 一ノ沢登山口 11:00 — 冷沢小屋 11:30

予想される トラブル対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ザックの総重量は7から8kg程度にすること。 ・熱中症・脱水対策の為、水は1.5リットル以上携行。必要に応じて各小屋で補充すること。 ・1日目の燕山荘の夕食前に、2日目以降のケガ・疲労により無理とリーダーが判断した場合、佐々木が付き添って中房温泉まで下山する。この場合リーダーを三日市(雅)に変更。 ・2日目の行程でエスケープルートはないので、ケガ・疲労で無理とリーダーが判断したら、大天荘か大天荘ヒュッテに宿泊する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・1日目の燕山荘までの登りは2つのグループに分ける。2日目以降は分けない。 トップ；堀(幸) 中間：三日市(雅) 最後：佐々木基 ・山岳会への定時連絡は山小屋に到着時にグループLINEにメッセージする ・登山届、宿泊手続きは堀幸人さん

安全登山講習会について

○ 10月5日（日） 9:00～12:00 3時間ほど（場所：あおーよ 1F 研修室）
13:30～4:30 3時間ほど（場所：新川地域消防組合_黒部消防署 2F）

○安全登山講習会

講 師：山岳看護師 中田裕子さん（所属：高志山の会）
講義内容：・冬山で多い低体温症について（保温の仕方など）
・外傷時、三角巾の代わりになるものの使い方
・その他（聞いてみたいことなどあれば募集します）
グループに分かれ、ロールプレイを行う。

費 用：確認中（会からの助成と参加者からの参加費が必要になるかも）

持 ち 物：未定

服 装：動きやすい服装（通常の山歩きの服装でよい）

○救急救命講習会（普通救急講習Ⅰ：3時間コース）資格証の授受あり

講 師：黒部消防署職員

講義内容：講習内容に基づき行う

費 用：0円

持 ち 物：未定

服 装：動きやすい服装（通常の山歩きの服装でよい）

※安全登山講習会の講師と調整中。費用面等で中止となった場合、日を改めて富山県警の警備隊の方に同上の内容で講習会を依頼する予定。

※参加締め切り：9月25日予定

「知識が“あるか”“ないか”で、何かあったときの行動の仕方は大きく異なってくると思います。習ったことがあること・聞いたことがあることでも、「繰り返し何度も」が大切だと思います。 皆さんの参加をお待ちします。

黒部山岳会 2025 年度 9月定例山行（案）

山 名	爺ヶ岳	
標 高	中央峰 2670m	
標高差	登山口：1350m 標高差：1320m	
所 在 地	富山県中新川郡立山町と長野県大町市にまたがる位置にある	
山 行 日	2025/9/21(日)	
予 備 日	なし	
集合場所/集合時間	入善スマートインター山側 / 午前4時	
服装・装備	個人：雨具、防寒服、手袋、帽子、飲料水、昼食、ヘッドラップ、行動食、常備薬	
担 当 者	三日市雅文・信子	
参 加 費		
参 加 者		
行 程	<p>登 山 口 柏原新道駐車場</p> <p>ルート名 柏原新道登山口～種池山荘～爺ヶ岳 (ピストン)</p> <p>9月21日 (日)</p> <p>入善IC ～ 糸魚川IC ～ 扇沢駐車場 ～ 柏原新道登山口 ～ 種池山荘 4:00 4:30 6:40 7:00 11:00～11:30</p> <p>～ 爺ヶ岳 ～ 種池山荘 ～ 柏原新道登山口 ～ 扇沢駐車場～ 12:30 13:10 15:40 16:00</p> <p>～ 糸魚川IC ～ 入善IC 18:10 18:40</p>	
感想 (担当者)		

黒部山岳会 2025年度 10月19日定例山行 (仮)

山名	僧ヶ岳 (第二登山口より)		
標高	1,855m		
距離・累積標高	距離: 12.1km 累積標高差:(登り) 1,368m (下り) 1,368m		
所在地	富山県黒部市(魚津市)		
山行日	令和7年10月19日(日)		
集合場所/集合時間	内山公園駐車場／AM5時00分		
服装・装備	日帰り登山装備		
担当者	野口、宮寺		
参加費	500円		
参加者			
行程	(往路) うちやま公園駐車場 5:00 第二登山口出発 6:00 第三登山口 7:20 烏帽子尾根合流地点 9:50 前僧ヶ岳 10:30 僧ヶ岳 11:00 歩行時間 5時間00分		(復路) 僧ヶ岳 11:30 前僧ヶ岳 12:00 烏帽子尾根合流地点 12:30 第三登山口 14:10 第二登山口 15:10 内山公園駐車場 16:10 歩行時間 4時間10分
注意点	・コースタイムは往復約7時間。長いコースとなり、無理をしない。疲労・行動遅れ等の状況次第で引き返す。又11時30分になつたらどこにいても引き返す。 ・登山道整備状況が十分でなく、草で足元が見えづらい箇所がある。 ※10月19日の日の入時刻17:10		
その他	・参加人数によって班分けを行う。 ・目的地到着時及び下山時に山岳会LINEへ連絡する。		

安全登山サテライトセミナー 国立登山研修所友の会 研究会 PLUS

参
加
費
無
料
オ会
ン場
120
500
名
00
名



第1部 12時00分～13時20分
長野県の遭難データから分かる
気象リスクと安全登山

国内唯一の山岳気象専門会社ヤマテンの代表取締役。中央大学山岳部元監督。国立登山研修所専門調査委員及び講師。「山の日」アンバサダー、カシオ「プロトレック」開発アドバイザー。山に登ること、天気を予想すること、雲を見ることが三度の飯より大好き。登山歴はチョムカンリ（チベット）、剣岳北方稜線冬季全山縦走など。2019年以降は、エベレスト（8,848m）、マナスル（8,163m）など予報依頼の多い山に予報をしながら登頂し、山岳気象の理解を深める。朝日新聞新潟・長野・山梨版で「空の百名山」を連載中。山岳気象大全（山と溪谷社）他、著書多数。「マツコの知らない世界」などテレビ出演多数。

会場参加者には 国立登山研修所指導者テキスト「新・高みへのステップ（1～3）」を配布します。

主催：国立登山研修所友の会

共催：独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立登山研修所

特別協賛：（株）モンベル（株）ゴールドウイン

三戸呂拓也



第2部 13時30分～14時50分
登山と映像撮影
～気象予報士のエベレスト登頂を撮る～

1985年大阪府生まれ、長野県大町市育ち。山岳カメラマン。国立登山研修所講師。2024年5月、山岳気象予報士・猪熊氏の撮影でエベレスト（8,848m）に登頂。ガッシャーブルムII（8,035m）、アコカングア（6,960m）、デナリ（6,190m）、エルブルース（5,642m）などに登頂。ニルギリ（7,061m）西面などで高所のバリエーションルート登攀。撮影番組にNHK-BS「グレートトラバース3」、日本テレビ「世界の果てまでイッテQ！」、TBS「クレイジージャーニー」などがある。

石川直樹



第3部 15時00分～16時20分
ヒマラヤ8000メートル峰
14座に通った23年間

1977年東京都生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。人類学、民俗学などの領域に関心を持ち、辺境から都市まであらゆる場所を旅しながら、作品を発表し続けている。2008年『NEW DIMENSION』（赤々舎）、『POLAR』（リトルモア）により日本写真協会賞新人賞、講談社出版文化賞。2011年『CORONA』（青土社）により土門拳賞。2020年『EVEREST』（CCCメディアハウス）、『まれびと』（小学館）により日本写真協会賞作家賞。2023年東川賞特別作家賞。著書に、開高健ノンフィクション賞を受賞した『最後の冒険家』（集英社）、『地上に星座をつくる』（新潮社）ほか多数。

11:30受付

12:00～16:30

11月16日（日）

株式会社モンベル品川店 2階サロン

QRコード（国立登山研修所HP）
から申し込みください。



お問い合わせ

国立登山研修所

076-482-1211

tozanken-info@jpnspor.go.jp



薬師岳折立登山道 モニターツアー

近年のゲリラ豪雨などの異常気象、これまで任意で整備を担ってきた山岳会の高齢化、山小屋経営の不安定化、人材不足などにより荒廃が進む「登山道」

モニターツアーでは
「登山道の侵食の原因」
「それをどう直していくのか」
「登山者にはなにができるのか」などを
薬師トレイルクラブが解説。

8/23
9:00~

第一回

集合・解散

料金

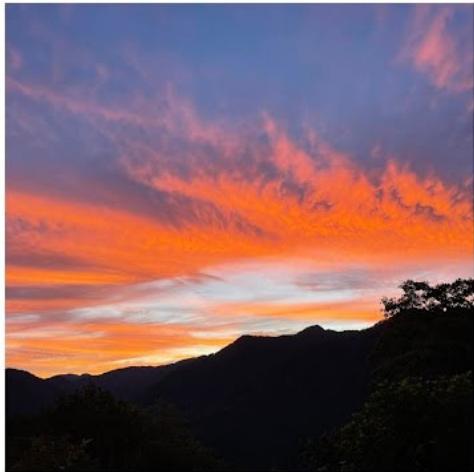
折立登山口 ￥参加費無料 (有峰林道通行料は各自負担)

参加申込み方法

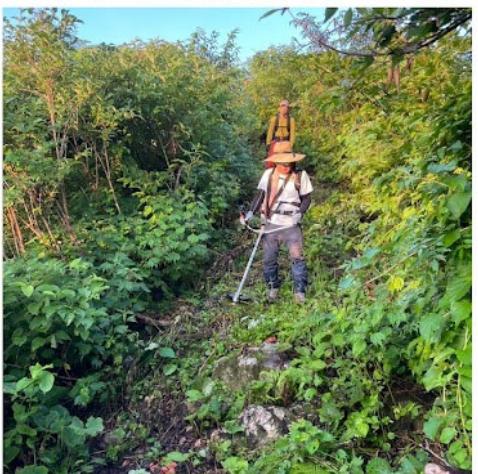
モシコムまたはスポーツのマンゾク店頭にて受付

(予定) 第2回 9月21日(日) 薬師トレイルクラブ
第3回 10月19日(日) HP,インスタグラム参照

20250809_僧ヶ岳登山道整備



20250824_烏帽子山 登山道整備作業



活動名	2025年8月23日(土) 烏帽子山に登る日	
人数	会員 12名、一般 5名 (全17名)	
氏名一覧	荻野、松本、堀幸、長谷、村上、森田、川上、滝本、菅原、堀正、河村、宮寺 古川、太田、伊東、北島、能登	
出発時間、解散時間	8:12出発-9:32大岩-11:03~12:03頂上-14:30解散	
登山コース	烏帽子山 1274.2m(富山の百山)	
担当	堀正、松本、堀幸、長谷	
天候	晴れ	
行程	   	
感想(担当者)	<p>午前8時集合、あいさつ、準備体操後、 巷では熊のニュースも多い中、熊鈴をつけ出発しました。 一般の方、5名参加あり、再来年に黒部山岳会に入会したいという方も。 都合により3名の方は大岩まで、他14名は頂上まで行つきました。 今回参加されてない、一般の方も何組もおられて、にぎやかな頂上でした。 8月に登山道際に、もう、いくつも大きなキノコが育つていて、驚きました。 食べれるのかよくわからなくて、みてるだけでしたが…春にみたタマゴダケも！ 少しだけ赤くなっている木もあり、秋の気配を感じました。 連日の厳しい暑さで、地面が乾いており、歩きやすい山道でした。 各自水分をこまめにとり、景色を楽しみながら、下界ではメチャクチャ暑い日に、 時折吹き抜ける心地よい風を感じることができ、楽しい山行でした。</p>	

20250809_白馬岳日帰り山行

参加者：松本、三日市（信）、三日市（雅）、高澤

